

第3次計画の具体的取組について（一例）

基本方針3 健康寿命の延伸に向けて、市民自らが健康を管理する

具体的取組（1）ライフステージに応じて定期的に健（検）診等を受診する

①現状と課題

市では、ライフステージごとに必要な健（検）診を実施しています。

健康診査受診率は特定健診が53.0%、後期高齢者健診が66.9%と横ばいで推移しており、都の平均は約50%と比べても受診率が高い状況を維持しています。また、市独自で行っている成人健康診査・若年層健康診査の受診率についても、横ばいで推移しています。

がん検診については、胃がん検診2.6%（都5%）、大腸がん検診4.6%（都16.1%）、肺がん検診0.2%（都6.9%）、乳がん検診15.4%（都16.1%）、子宮頸がん検診10.8%（都18.5%）と、乳がん検診を除く4つのがん検診の受診率は都と比べると低く、がん検診の受診率向上が大きな課題となっています。

②取組の方向性

各種健（検）診の制度について、より分かりやすい周知を行うことや受診しやすい日程を設定すること、また市民自らが経年的に健（検）診の受診スケジュールを立てられるようなシステムづくりを推進するなどの取組により、受診率の向上に努めます。また市民とともに健（検）診事業充実のための検討をする仕組みづくりを進めます。

受診後においても、生活習慣の改善や精密検査受診勧奨等、結果を健康づくりに活用できるよう働きかけを強化します。

③主な取組の内容

ア）健（検）診の周知と受けやすい環境の整備の推進

生活習慣を見直す一次予防の重要性とライフステージに応じた健（検）診の周知を積極的に行います。健（検）診時間や会場の見直しと、受診枠拡大を目的とした自己負担制度を導入し、さらに健（検）診が受けやすい環境を整え、充実した健（検）診事業を市民と協働して検討します。

市の主な事業	☐ 特定健康診査等健康診査 ☐ がん検診 ☐ 歯科検診
市民の取組	☐ 自らの健康状態に関心を持ちましょう。 ☐ 定期的に健（検）診を受診しましょう。

イ) 生活習慣の改善に向けたシステムづくりの推進

市民が健（検）診結果をいかした生活習慣改善の取組が行えるよう、市民が主体的に健康づくりを行えるシステムづくりに力を入れていきます。

市の主な事業	○ライフステージに応じた健（検）診の情報発信 ○健（検）診スケジュールを管理できるような媒体作成
市民の取組	○保健指導等を活用し主体的に健康づくりに取り組みましょう。 ○市と一緒に健（検）診事業の充実に向けた取組を検討しましょう。

ウ) 精密検査の受診促進

精密検査の必要性について説明したり、他自治体の先駆事例の取組を取り入れるなど、精密検査を受けていない人に受診勧奨の支援を行います。精密検査の受診率や精密検査結果把握率を上げるほか、国や都の指針を参考にして、健（検）診の精度管理を行い、精度の高い健（検）診を提供できるよう努めます。

市の主な事業	○様々なツールを使っでの精密検査受診勧奨
市民の取組	○精密検査の必要性を理解して受診しましょう。

④指標と目標

指標	現状値	目標値
特定健康診査の受診率	53.9%	
胃がん検診の受診率	2.6%	
大腸がん検診の受診率	4.6%	
肺がん検診の受診率	0.2%	
乳がん検診の受診率	15.4%	
子宮頸がん検診の受診率	10.8%	
胃がん検診の精密検査受診率	95.7%	
大腸がん検診の精密検査受診率	100%	
肺がん検診の精密検査受診率	92.5%	
乳がん検診の精密検査受診率	98.6%	
子宮頸がん検診の精密検査受診率	97.0%	